

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス るーむ		
○保護者評価実施期間	令和8年 2月 1日		～ 令和8年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15人	(回答者数) 12人
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 1日		～ 令和8年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5人	(回答者数) 5人
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 3日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童一人一人に対して、特性、行動ともに共通理解をもって職員が支援にあたれている	日々職員間で伝達、相談を行い話し合いの場を設けている 一人一人に寄り添った統一支援を行うことで子供たちの成長に繋がられている	日々の活動や生活の中での児童の弱みを見つけ、直接アプローチできるように、普段から取り組みの確認を全職員で行っていく
2	運動、工作、SSTといった活動プログラムを児童にあった形で考えられていることで、集団でも個別でも対応でき、全体で行えるように配慮されている	職員の得意不得意で担当を決め、活動プログラムを組んでいる、全員が同じことをすることは望ましいことではあるが、年齢や個々の能力に応じて簡易的なものにしたたり、補助を行う体制で支援している	職員が全体で協力し一つのプログラムへの児童の取り掛かりをスムーズに行えるようにしていく、お互いの動きを視野に入れ子供たちにわからないことが出ないようにしていく
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流や話す場を作ることができず、地域とも交流できる環境がない、また第三者に対しても介入してもらえない環境、状況が作れていない	様々な地域からの利用のため、事業所がある地域の方たちとの交流は難しい、同じく様々な学校の児童なので、児童センターとの交流も難しい、併せて土曜日の営業もないため平日の交流は時間的にも難しい	保護者間での交流ができる場を設ける (長期日程の際に可能であれば参観日、親子レク) 誰でも参加できる地域行事などを採す
2			
3			